

棕櫚の主日礼拝

2022年4月10日(日) 午前10時30分

午後2時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩編 118編23～25節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

イザヤ書 53章1～12節 (旧1149)

マルコによる福音書14章32～42節

(新92)

祈 禱

使徒信条

讃美歌 142 (1)

説 教 「主イエスの祈り」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃美歌 332 (1)

献 金

頌 栄 539

祝 禱

黙 禱

4月の祈り

主の十字架の苦しみと死によって与えられた恵みを受け止め、今も生ける復活の主イエス・キリストと共に生きる喜びと確かさを覚えて。

戦争の痛みに覆われている世界の嘆きを主が聞いてくださるように。戦火が早く止み、人々の生活が回復されるように。弱い立場の人々や子どもたちが守られるように。

今日の祈り

受難週にあつて、聖書に親しみ、主イエスの苦難と十字架の歩みをたどることができるように。

人間の罪の現実を顧み、主の死による贖いの信仰を確かめ、悔い改めを覚えるように。

イースターの希望を信じて日々を大切に生きることができるよう。

「主イエスの祈り」

マルコによる福音書14章32～42節

姜 徑米

42節の最後にあるように、主イエスを裏切ったユダと人々がやって来て主イエスは逮捕されます。夜が明けてから裁判が行われ、その日の内に主イエスは十字架につけられて殺されるのです。この苦しみと死の前、主イエスはゲツセマネという所で祈られました。

33、34節にあるように、主イエスはひどく恐れてもだえ苦しみ、「わたしは死ぬばかりに悲しい」とおっしゃいます。そして三人の弟子たちに「ここを離れず、目を覚ましていなさい」と言って、少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈ったのです。

「この苦しみの時」というのは、これから捕えられ、裁かれ、十字架につけられて殺される、苦しみの時です。

主イエスのご自分がどのように殺されようとしているのかを知っておられました。神様がそのために自分をこの世に遣わしたこと、ご自分の使命は十字架にかけられて死ぬことだということ意識しておられたのです。

主イエスは全てを知りつつご自分から十字架の死の道を歩んでおられます。しかし、主イエスにとっても十字架の死は大きな苦しみであり、できることなら起って欲しくないことでした。

主イエスは私たちの苦しみを、ご自分の苦しみと重ね合わせて下さいます。「神様は自分を見捨てたのではないか、自分が神を信じてても無意味なのではないか」そういう私たちの苦しみと、十字架の死へ向かうご自分の苦しみを重ね合わせ、それを共に背負って下さいます。

主イエスはここで私たちの苦しみをご自分の苦しみ悲しみとして引き受け、それを私たちと共に背負って下さったのです。

しかし、主イエスの苦しみと私たちの苦しみの意味が違います。私たちの苦しみ悲しみは自分に原因がある。私たち自身から生じた苦しみを苦しんでいるのです。しかし主イエスの苦しみは、ご自身の罪によることではありません。主イエスは私たちの罪を背負って、私たちに代って苦しみを受けて下さったのです。

十字架につけられ、神に見捨てられて滅ぼされなければならない私たちのために、すべてを引き受けて、苦しみを受けて下さったのです。

主イエスは、私たち以上に深く苦しんで下さったのです。「わたしは死ぬばかりに悲しい」と悲しんでおられたのは、私たちの罪だったのです。

- * 教会学校 礼拝 9:00 説教 高橋和人
- * 役員(長老)会 第1礼拝後
- * 祈祷会 4月13日(水) 14:00

*** 予 告 ***

- 4月17日(日) イースター(復活日)
礼拝 10:30
聖書 イザヤ書 35章1~4節
ルカによる福音書 24章13~35節
説教 「復活と再会」高橋和人
讃美歌 147(1) 151(1) 199(1) 540
墓前礼拝 14:30
- 4月24日(日) 公同礼拝 10:30
聖書 詩編 16編7~11節
コリントI 12章31b~13章7節
説教 「最高の道、愛」 姜徑米
讃美歌 546 187(1) 529(1) 541
教会総会
- 5月1日(日) 公同礼拝 10:30 14:00
聖書 詩編 90編1~6節
マタイによる福音書 8章18~22節
説教 「宿りの地」 高橋和人
讃美歌 546 166(1) 294 542
聖餐式
- 5月8日(日) 公同礼拝 10:30 14:00
聖書 詩編 16編7~11節
マタイによる福音書 8章23~27節
説教 「この人は誰か」 高橋和人
讃美歌 546 121(1) 285 543

*** お知らせ ***

- 幼稚園入園式は11日(月)になります。
 - 次週はイースター礼拝になります。午後の礼拝は14:30より墓前礼拝となります。
 - 4月24日(日)の午後の礼拝は教会総会のため休止します。
- *引き続き、感染予防にご協力ください。
- 讃美歌は奏楽を聞き、歌詞を読み、心の中で、心を合わせて讃美します。主の祈りと使徒信条は司式者が朗読しアーメンを唱和します。祝祷もアーメンを唱和します。
 - 発熱、体調不良、風邪のような症状のあるような場合は、自主礼拝にしましょう。
 - マスクの着用、体温測定、手洗い、手指の消毒にご協力ください。
 - 席は間を空けて座りましょう。
 - 会堂内では静粛にし、会話も控えましょう。
 - 礼拝後は滞留しないように退出しましょう。

4月3日の集会統計

	男	女	計	陪餐
主日礼拝1	25	45	70	66
主日礼拝2	5	11	16	16
教会学校	13	19	32	

週 報 No. 15 (臨時版)

2022年4月10日

2022年度主題 「再生する教会」

ルカによる福音書 22章32節
「しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」



日本基督教団田園調布教会

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-34-18
Tel 03(3721)2811 Fax 03(3721)2814
E-mail denenchofu@den-church.jp
URL https://den-church.jp/